

2022年6月27日第83回運輸政策セミナー

「地域づくりの新定石」

～アドベンチャートラベルの取り組みを例に、地域主導の世界水準の観光の創り方を考える～

柏木理事長補佐 閉会挨拶

運輸総合研究所の柏木です。本日は多くの皆様に最後までご視聴いただきまして、誠にありがとうございました。ご登壇いただいた水口様、実重様、多田様、鈴木様、阿寒からご参加の高田様、矢ヶ崎先生。限られた時間のなかで、盛り沢山でリアルな、濃縮したお話をいただき、そして矢ヶ崎先生にはしっかりまとめていただき、ありがとうございました。

最後に近いところで、多田様から「本当に観光はその地域に必要ですか」という問い、これを考えてみようというお話もありました。

本日もご登壇いただきました皆様は、日本で最も早い時期にアドベンチャートラベルに着目をされ、今日の流れを創り出してこられたわけですが、その皆さんが地域の魅力を発掘し、地域をよくする一つ的手段として、アドベンチャートラベルを見ておられる、この点をまず視聴者の皆様と共有できればと思います。

来年、アドベンチャートラベルの国際組織の世界大会が北海道で開催されると、先ほど水口様のプレゼンの中にもありました。日本全体の観光関係者の間で、アドベンチャートラベルの取り組みがある種のブームのようになることが想定されます。本日は自治体を始め地域関係者の皆様も多く視聴されていると承知しておりますが、これをしっかりと地域作りに役立てていこうという思いを共有できればと思います。

冒頭、アドベンチャートラベル大全という本を紹介させていただきました。これは水口様たちがアドベンチャートラベルとどのように出会い、それが地域に役に立つものであることをどのように確認し、さらにそれをどのように咀嚼して北海道の発展に役立てようとしているか、さまざまなノウハウとともに書いておられます。繰り返しになりますが、改めて紹介をさせていただきます。

また、当研究所では、観光を手段としてどのように持続可能な地域づくりを進めていくか、昨年度の調査研究事業の成果として、分かりやすい手引きをまとめております。ここに改めてご紹介をさせていただきます。是非、運輸総合研究所のホームページをご覧ください。

もう一点、本日は、多田様、鈴木様、高田様にご登壇をいただき、アドベンチャートラベルの現場の状況を生き生きとお伝えいただきましたが、地域において観光産業が持続可能な地域づくりに貢献していくためには、こうした、地域にしっかり根を下ろしながら世界水準の観光を作り出す様々な人と組織、連携プレイが必要で

す。その担い手になる人材を育て、さらに十分な賃金なり報酬なりをもって報いる、地域観光産業のあり方が今後求められてくると思います。この課題が、日本が避けて通れない重要な課題であるということを、皆様と共有したいと思います。

セミナーは以上で終了です。視聴者の皆様にいつものお願いですが、このあと、アンケートを送信させていただきますので、本日の内容や進め方、今後取り上げるべき課題などについて、お感じになっていることを是非率直にお聞かせいただきますよう、お願いします。

皆様の貴重なご意見をしっかり踏まえて、今後の業務を進めて参ります。

本日の皆様のご参加に感謝し、また、こうした私どもの活動全般を支えていただいております日本財団に感謝の意を表しまして、結びの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(以上)